

乳腺・内分泌外科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

| | |
|--------------------------------|--|
| 研究課題名 | 進行再発乳癌に対する FoundationOneCDx を用いた包括的遺伝子プロファイルの解析とそれを用いた個別化治療に関する研究 |
| 研究機関名及び研究機関の長 (試料・情報の管理責任者) | 愛知医科大学病院 病院長 道勇学 |
| 研究責任者 | (担当科)外科学講座(乳腺・内分泌外科) (職名)准教授 (氏名)藤井公人 |
| 試料・情報の利用目的及び利用方法 | <p>〔利用目的〕</p> <p>当科での FoundationOne CDx (F1CDx) の検査を受けた症例の解析結果をまとめて論文化し報告します(第一目的)。得られた体細胞での遺伝子プロファイリングをもとに、これまでのサブタイプ別の乳癌診療だけでなく、個別化治療を行うための礎を築くことを第二の目的とします。</p> <p>〔対象となる患者さん〕</p> <p>2020年1月から2022年5月までに進行再発乳癌と診断されF1CDx検査を受けた患者さん。</p> <p>〔研究期間〕</p> <p>研究実施承認日 ~ 2023年5月31日</p> <p>〔利用方法〕</p> <p>F1CDxの結果、診療情報そして病理組織学的検査結果を統合的に評価します。</p> <p>対象患者さんの過去の治療歴、家族歴やF1CDxで得られた癌細胞の遺伝子変化との関係を、統計解析も含め再検討します。それにより、これまでのホルモン状態等を参考にした乳癌診療に対して、治療成績の向上につながる追加情報を探索します。</p> <p>この研究は、愛知医科大学病院内のみで行い、他の施設への試料・情報提供はありません。</p> |
| 利用又は提供する試料・情報の項目 | 試料：新規に採取することはありません 情報：病歴、乳癌組織の病理組織学的検査結果、F1CDx検査の結果等 |
| 試料・情報の提供を行う機関の名称及び | 非該当 |

| | |
|--------------------------------|--|
| その長の氏名 | |
| 提供する試料・情報の取得の方法 | 非該当 |
| 提供する試料・情報を用いる研究に係る研究機関名・研究責任者名 | 非該当 |
| 利用する者の範囲 | 非該当 |
| 試料・情報の利用又は提供を希望しない場合 | 本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2023年4月30日までに電話連絡により下記問い合わせ先まで申し出てください。 |
| 問い合わせ先 | 愛知医科大学 外科学講座（乳腺・内分泌外科） 担当者：（職名）准教授 （氏名）藤井公人 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線 22140） |